

## 乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 29 年 1 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原監視カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

#### ・ 地震活動（図 2-①、図 3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。

#### ・ 地殻変動の状況（図 2-②～④、図 4）

GNSS<sup>1)</sup> 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況  
(1月7日 乗鞍高原監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 2 月分）は平成 29 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】	
初期	2010年12月10日(観測開始)～2011年3月1日 三本滝振幅 0.5 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P 2 秒以内
変更①	2011年3月2日～3月10日 三本滝振幅 0.5 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P 1 秒以内
変更②	2011年3月11日～2013年11月1日 三本滝振幅 3.0 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P 1 秒以内
変更③	2013年11月1日～ 三本滝振幅 2.0 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P 1 秒以内

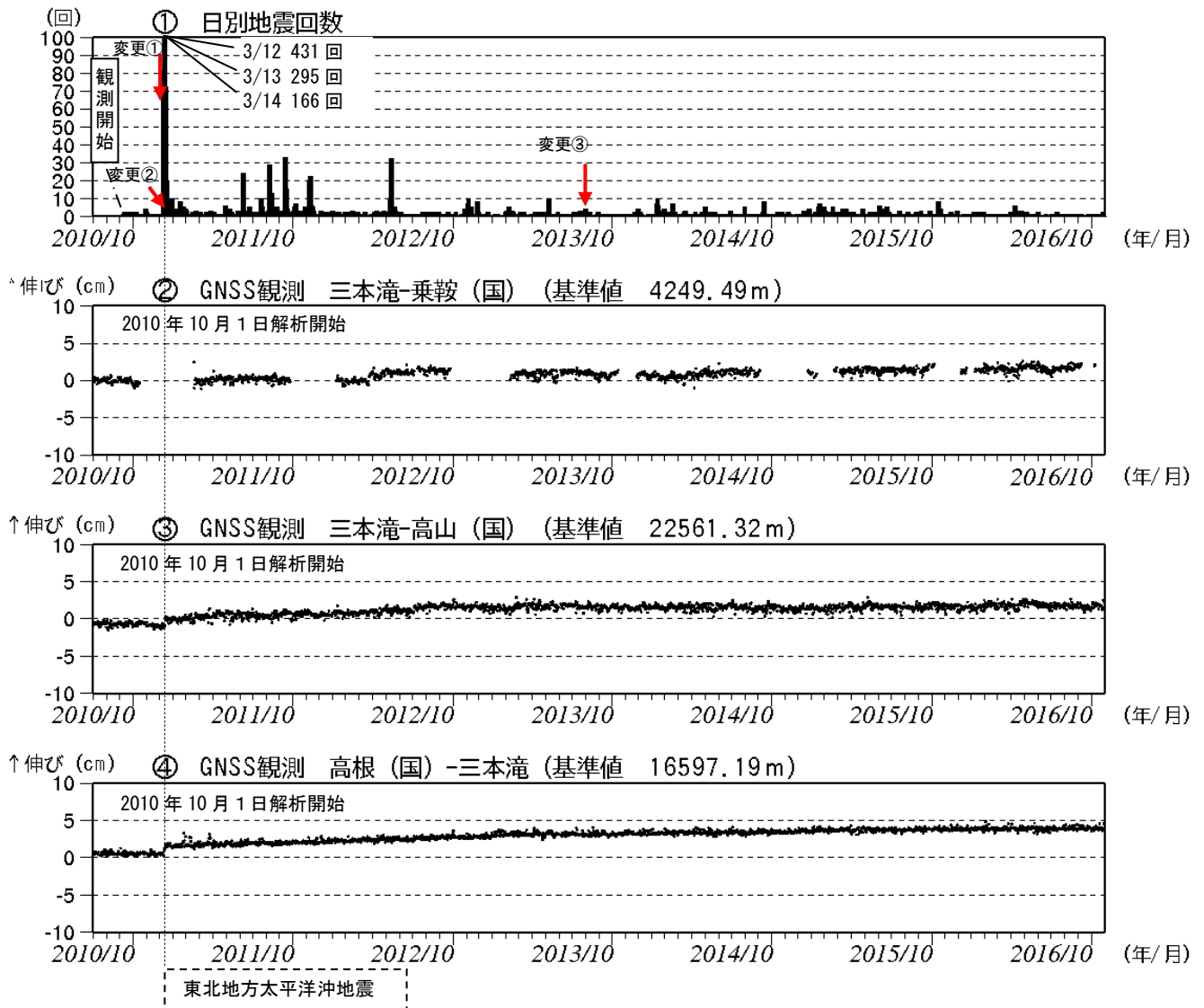


図2 乗鞍岳 火山活動経過図

① 乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010年12月10日～2017年1月31日)

②～④ : GNSS 連続観測による基線長変化 (2010年10月1日～2017年1月31日)

(国) : 国土地理院

- ・ ③④の基線には、東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日) に伴うステップ状の変化がみられます。
- ・ ②～④は図4のGNSS基線②～④に対応しています。
- ・ ②のグラフの空白部分は欠測を示しています。

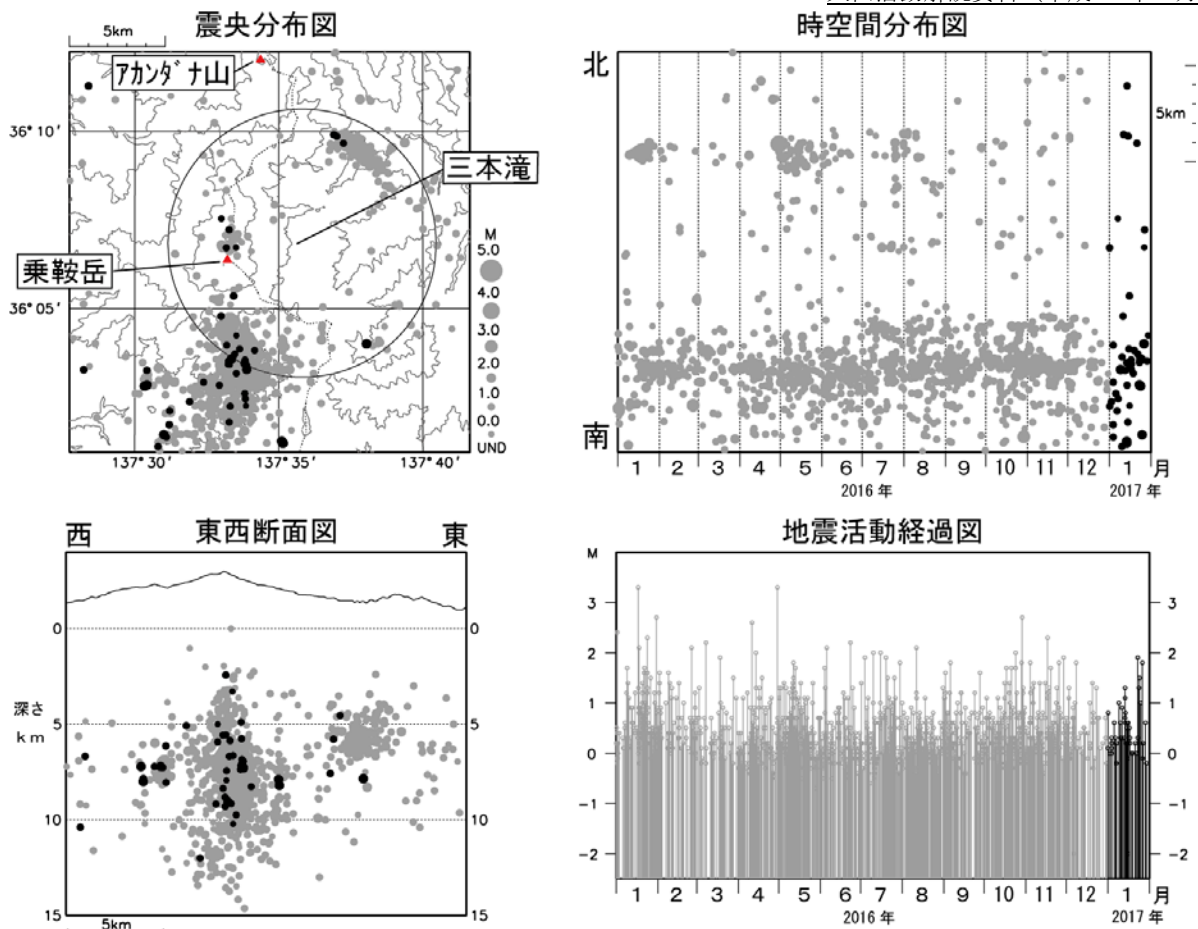


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年1月1日~2017年1月31日)

● : 2016年1月1日~2016年12月31日 ●● : 2017年1月1日~1月31日

- ・震央分布図中の円は図2-①の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

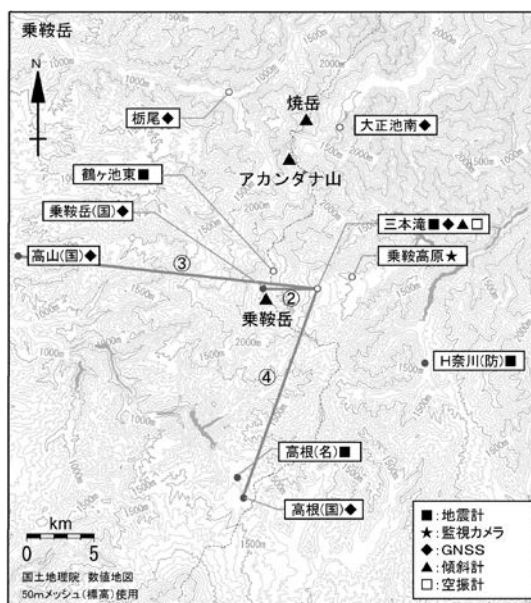


図4 乗鞍岳 観測点配置図

GNSS 基線②~④は図2の②~④に対応しています。